

平成24年度に事後評価を行った強い水産業づくり交付金事業

整理番号	実施年度	政策目標	事業主体	事業内容
20-1	平成20年度	経営構造改善目標	鳥羽磯部漁協	漁船保全修理施設
20-2	平成20年度	経営構造改善目標	志摩市	つきいそ
20-3	平成20年度	経営構造改善目標	大紀町	つきいそ
20-4	平成20年度	経営構造改善目標	紀北町	つきいそ
20-5	平成20年度	経営構造改善目標	紀宝町	つきいそ

平成20年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-1	三重県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 漁船保全修理施設
事業実施主体	鳥羽磯部漁業協同組合	
評価期間	平成21年度～23年度	
事業費	46,988 千円	
交付金額	17,900 千円	
成果目標	3年間の総便益	16,535 千円
実績値	3年間の総便益	11,822 千円
成果目標の達成率	71.5 %	
事業の目的	<p>菅島地区に漁船保全修理施設を整備することで、漁業者の安全性、利便性を高め、営漁経費の節減を図り、漁家経営の向上に資することを目的とする。</p> <p>軌条 2条, 台車 4台, 巻上機(20t) 1台, 機械室(16㎡) 1棟, 高圧洗浄機一式</p>	
事業の成果	<p>当該地区は本土から5kmの距離にある離島であり、当該施設整備により遠く離れた本土の船揚げ施設を利用する必要がなくなり、漁業者の安全性と利便性が向上した。さらに、施設利用料の節減、労働時間の短縮、移動燃料費の節減等が図られ、営漁経費の軽減による漁家経営の向上にも寄与している。</p>	
その他特筆すべき事項	<p>初年度は高所作業に対する不安や上架担当漁協職員が不慣れであったことなどにより利用隻数が低迷した。このため、改善方法を検討し、作業環境の改善や上架担当職員の技量向上に取り組むとともに、漁業者への利便性や安全性の周知活動に取り組んだ結果、3t未満の小型船の利用が促進され、利用隻数は年々向上した。</p>	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考	<p>今後も漁業者の意見を取り入れながら、施設の効率性、利便性、安全性を高める改善に取り組むとともに、研修による上架担当職員の更なる技量向上や担当職員を複数にするなどにも努める。改善された結果は漁協役員等が地区漁業者へ積極的に周知することで利用隻数の増加を図りたい。</p>	

平成20年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-2	三重県		
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名)	つきいそ	
事業実施主体	志摩市			
評価期間	平成21年度～23年度			
事業費	3,812 千円			
交付金額	1,906 千円			
成果目標	魚種毎の単位生産増加量	アワビ	0.02	kg/m ³
		サザエ	0.21	kg/m ³
		イセエビ	0.06	kg/m ³
実績値	魚種毎の単位生産増加量	アワビ	0.03	kg/m ³
		サザエ	0.28	kg/m ³
		イセエビ	0.06	kg/m ³
成果目標の達成率	アワビ	150.0	%	
	サザエ	133.3	%	
	イセエビ	100.0	%	
事業の目的	水深の浅い場所につきいそ漁場(自然石 1,000kg内外 879m ³)を整備し、資源量の増加を図り、漁獲量の増大と漁業所得の向上を目的とする。 対象魚種 アワビ, サザエ, イセエビ			
事業の成果	つきいそ漁場の整備により、主として海女漁業のための水深の浅い場所に漁場が形成され、地区漁業者に利用され漁獲量の増大と漁業所得の向上に貢献している。また、漁業者の資源管理意識の向上にも繋がった。			
その他特筆すべき事項	海女漁業・刺網漁業は志摩市における伝統漁業として継承されてきたものであり、つきいそ造成を行い資源の減少を最小限にとどめることで古くからの伝統を守ることができている。			
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策				
備考	対象魚種については比較的安定した水揚げがあり、成果目標を上回る効果が得られている。 漁獲管理による資源の有効利用を指導しており、今後は近年、増加傾向にあるガンガゼ等の有害生物駆除事業を行って、資源の増加を図っていくとともに後継者育成にも取り組んでいく。			

平成20年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-3	三重県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) つきいそ
事業実施主体	大紀町	
評価期間	平成21年度～23年度	
事業費	10,000 千円	
交付金額	5,000 千円	
成果目標	単位生産増加量	0.088 Kg/m ³
実績値	単位生産増加量	0.128 Kg/m ³
成果目標の達成率	145.5 %	
事業の目的	つきいそ漁場(自然石 1t 内外 2,000 m ³)を整備し、漁場改良や生産性の拡大、漁獲量の増大を図る。 対象魚種 イセエビ	
事業の成果	地区全体の漁獲量が年々減少傾向にある中、対象魚種であるイセエビの漁獲量が徐々にではあるが増加傾向にあり、稚エビの放流や禁漁区の設定等による漁場管理が徹底されている効果が出ていると考えられる。	
その他特筆すべき事項	本事業に対する要望も強く、漁場改良や生産性の拡大、漁獲量の増大の為にも継続的に事業を実施していきたい。	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考		

平成20年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-4	三重県	
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	紀北町		
評価期間	平成21年度～23年度		
事業費	6,137 千円		
交付金額	3,068 千円		
成果目標	単位生産増加量	0.0675	kg/m ³
実績値	単位生産増加量	0.0835	kg/m ³
成果目標の達成率	123.7 %		
事業の目的	<p>当地区の沿岸域では、小型漁船漁業は夏期は小型定置網、かご漁業を、冬期はイセエビ刺し網を主としてその時期の対象資源の動向に応じて種々の漁業種類を組み合わせた複合的な経営を営んでいる。中でもイセエビは、漁獲量が比較的に安定し価格が高く重要な魚種となっているため、イセエビの定着場所と育成場所を兼ねたつきいその造成により、高齢者対策とともに漁獲量の増大と漁業所得の向上を図るものである。</p>		
事業の成果	<p>整備時に比べ、漁船数が減少し、漁業者の高齢化が進んでいるにもかかわらず、成果目標を上回る効果が得られており、漁獲量の増大と漁業所得の向上に寄与していると考えられる。さらに、資源管理型漁業を定着させるため施設管理を受益者に義務づけた結果、資源管理型漁業の一層の推進が図られたと考える。</p>		
その他特筆すべき事項	<p>地元漁港への水揚げを行うことにより、地元民宿業者や港市への提供につながっている。</p>		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			

平成20年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-5	三重県	
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	紀宝町		
評価期間	平成21年度～23年度		
事業費	11,190 千円		
交付金額	5,595 千円		
成果目標	単位生産増加量	0.0861	kg/m ³
実績値	単位生産増加量	0.2002	kg/m ³
成果目標の達成率	232.5 %		
事業の目的	<p>紀宝町における七里御浜海岸の海岸浸食の進行は非常に速く、当地区で営まれていた伝統ある地曳網漁業も漁場環境の変遷により廃業へと追い込まれた。さらに、地曳網漁業の代替漁業として期待されていた船曳網漁業もここ数年漁獲が減少しており、廃業する経営体も出てきている。このように地区全体の漁獲が減少している状況の中、刺し網漁業、特にイセエビ網は、安定した漁獲を続けており、つきいその造成により、良好な漁場環境を整備し、漁業資源の根付けを図るものである。</p>		
事業の成果	<p>つきいそ事業を実施後、イセエビ漁獲量が増加し、地域の漁家経営の安定に寄与している。</p>		
その他特筆すべき事項	<p>平成23年度は台風災害の影響で漁獲量が減少したものの、3年間とも計画時における目標値を大きく達成しており、成果目標を上回る効果が得られてたと考えられる。</p>		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			